

市会

くらし、平和守って32年——山科になくてもはならない議員

京都市議会に送っていただいて32年を迎えています。

「安心してらせる山科」を信条に、みなさんのくらしや平和への願いを市政へ届け、4人の市長と論戦してきました。

くらしをこわし平和をこわす安倍政権の政治と正面から対決し、いのちとくらしを守る京都市政の実現へ全力をあげます。

日本共産党
市会議員・党市議団副団長

北山

きたやま 忠生

北山ただお



ただお

プロフィール

1948年生まれ。龍谷大卒。東山企業組合勤務。民青同盟東地区常任委員。83年京都市議当選(8期)。党市議団副団長、市会予算特別委員長、人権擁護委員、都市計画審議会委員など歴任。

日本共産党京都市会議員団 議会報告

安心してらせる山科を



「市民の足を守る」が信条!

住民とともに新しいバス路線を実現

京阪バスが、鏡山循環系統バスの本格運行を近畿運輸局に申請しました。「バス路線の要望署名」「鏡山生活支援バス」のとりくみなど、地元自治連、住民のみなさんの粘り強い運動の成果です。

1997年に市バスが廃止されて以来、「市民の足を守る」を信条に住民のみなさんと一緒に運動をすすめ、議会でも「バス路線の設置・充実」を一貫して求めてきました。引き続き、交通便利な街づくりへ全力をあげます。



2012年、住民のみなさんによって鏡山生活支援バスを運行
署名運動が実り、2002年には循環バス「くるり200」が実現

敬老乗車証改悪は許さない

いま京都市は、乗るたびに100円程度の負担を求める改悪案を検討しています。乗車証1枚で乗り降り自由の現行制度は、高齢者の健康や様々な社会活動への参加、地域経済の活性化に役立っています。現行制度を守り、よりよい制度への拡充をめざします。



安心して子育てができる山科へ

奮闘32年、児童館が全区に

京都市会に送っていただいて32年、みなさんとともに子育て支援や保育環境の充実を求め、安心して子育てができる街づくりに力をつくしてきました。当時、児童館は山科全体で4館しかありませんでしたが、保護者や教職員の皆さんと署名を集め、関係機関と協議をすすめるなど長年の運動をつみかさね、現在は全区に児童館をつくることができました。

子どもの医療費 中学校卒業まで無料に

- 京都市は子どもの医療費の助成制度を中学校卒業まで拡充する方針を示しました(3歳以上、月3000円の負担)。
- 京都市が決断し、府の制度に上乗せをすれば中学校卒業までの無料化は可能です。みなさんと力をあわせ、実現へ力をつくします。



長年の運動が実り、小野に児童館・学童保育所が実現(2001年)



平和の願いを山科から

今年は戦後70年の節目の年を迎えます。「集団的自衛権の行使容認の撤回を」「憲法9条生かした平和の外交を」——山科から平和の声を広げたいきましょう。



2014年6月の国民平和大行進に参加